

領域8インフォーマルミーティング議事録

開催日：2021/9/22 18:00-19:15

開催地：オンライン(zoom)

議長：楠瀬 博明 (領域代表, 明大理工)

司会：鈴木 雄大 (運営委員代表, 阪大工)

議事録作成：久保 徹郎 (書紀, 岡山理大理)

出席者

領域代表 (2021/4-2022/3)

楠瀬 博明 (明大理工)

領域副代表 (2021/4-2022/3)

石田 憲二 (京大理)

領域運営委員 (2020/10-2021/9)

鍋島 冬樹 (東大院総合文化/実験)、野本 拓也 (東大工/理論)、久保 徹郎 (岡山理大理/実験)、鈴木 雄大 (阪大工/理論)

領域運営委員 (2021/4-2022/3)

谷口 貴紀 (東北大金研/実験)、石角 元志 (CROSS/実験)、片山 尚幸 (名古屋大工/実験)、柳 有起 (東北大金研/理論)、日高 宏之 (北大院理/実験)

次期領域運営委員 (2021/10-2022/9)

大同 暁人 (京大理/理論)、水上 雄太 (東大新領域/実験)、関 和弘 (理研RQC/理論)、齋藤 開 (東大物性研/実験)

参加者：50 名弱

学生優秀発表賞 受賞者紹介

楠瀬先生から受賞者の紹介が行われ、受賞者挨拶が行われた。

受賞者は

今 布咲子 (北大理)、八城 愛美 (北大理)、山本 理香子 (広大先進理工) の3名。

議題1:プログラム編集について(鈴木)

前回大会からの変更点

- ・ポスターセッションの分割と座長の導入
- ・ブレイクアウトルームの導入
- ・キーワードの大幅改定

反省点・提案

- ・キーワードの変更についてもう少し告知すべきであったかもしれない
- ・シンポジウム、重複講演者の日程調整、Slackの活用など前任者の資料を利用することで作業がスムーズに行えた
- ・今後オンサイトとオンラインの両方で学会が行われるのであればノウハウの共有が必要である

一般講演数について

件数：352 (口頭232, ポスター120)

参加者は過去2大会 (2020秋 (337), 2021春 (345)) から回復傾向である。

「2022年春学会の開催方法がオンサイトとオンラインいずれになるかはいつ決定されるか？」

との質問があり、領域代表から次回の理事会で決まるだろうとの回答がされた。

播磨先生 (神戸大) より補足があり、

「昨年度神戸での開催を議論した際の経験から、11月に講演募集をする際に1つのターニングポイント、12月が決定時期になるだろう」

とのこと。

議題2:領域委員会報告(楠瀬)

報告事項

1. 担当理事報告(慈道 大介 委員長、寺崎 一郎 副委員長)

- ・今期領域正副代表、領域運営委員の紹介
- ・大会アンケート結果報告(今後のオンライン開催について)

オンサイトとオンライン半々程度の賛同があった

オンサイトとオンライン、年1回程度はどうかとの意見

- ・2021年秋季大会の開催方法について

審議事項

1. 2021年秋季大会招待・企画・チュートリアル講演、シンポジウム講演の採択 状況:物性領域・寺崎委員長)

- ・招待講演: 7件採択(条件付含む)、0件不採択
- ・チュートリアル: 5件採択(条件付含む)、0件不採択
- ・シンポジウム(一般): 9件採択(条件付含む)、0件不採択
- ・シンポジウム(共催): 3件採択、0件不採択

(領域8:一般シンポ:1件、共催シンポ:1件→採択)

他領域ではチュートリアル講演の応募が複数見られたため、領域8としても提案していくことが望ましい

やや一般シンポジウムが少ない印象があったため、積極的なシンポジウムの申込みを推奨する

2. 若手奨励賞受賞者の上限値について(領域8は4名)

3. その他

- ・講演の英語対応調査 (11月委員会で継続審議)

全領域から多数の意見があり、積極的なものからネガティブな意見まで多岐にわた

ることから継続審議となる。

- ・ オンライン学会におけるポスターセッションの実施方法と発表成立条件

議題3:領域8学生優秀発表賞(第77回年次大会)について (石田)

募集期間 10/15 (Fri)–10/29 (Fri)

- ・ 詳しくは、本学会の終了後に、領域メーリングリスト、ホームページで周知する
- ・ 応募者多数の場合は、事前書類選考を行う

参考:前回の募集要項 (領域8ホームページ) http://www.r8.div.jps.or.jp/call_student_presentation_award.html

積極的な申込みが推奨された。
詳細な時期等については学会終了後に周知する。

本審査 2022年3月(岡山大学・岡山理科大学)の学会発表

- ・ オンラインであっても学会が成立する場合は学生優秀発表賞を実施する
- ・ 発表形式は学会発表に準じて行う

発表自体も審査項目であることが確認された。

議題4:次期運営委員の紹介 (鈴木)

次期 (2021/10–2022/9) 運営委員の紹介があり、IM終了後に担当役職の決定が報告された。

運営代表：関 和弘 (理研RQC/理論)

運営副代表：水上 雄太 (東大新領域/実験)

Web担当：齋藤 開 (東大物性研/実験)

書記：大同 暁人(京大理/理論)

議題5:次々期運営委員の推薦及び承認 (鈴木, 片山)

推薦された方は以下の通りであり、承認された。

磁性：山根悠 (兵庫県立大/実験)、杉本 高大 (慶大理工/理論)

低温：下澤 雅明 (阪大基礎工/実験)、鬼頭 俊介 (理研/実験)、橘高 俊一郎 (中大理工/実験)

運営委員会の低年齢化を改善するために今回から運営委員が候補者を選び領域代表が打診する形に変更。

議題6: 次々期領域副代表の推薦及び承認 (鈴木, 石田)

次々期領域副代表 (2023/04–2024/03) ・ 次々期代表 (2024/04–2025/03)

永崎 洋氏 (産総研)

の推薦があり承認された。

議題7:その他 (楠瀬)

論文賞 推薦受付中 (推薦枠2)

[jps-f8 02851] 日本物理学会第27回論文賞受賞候補論文の推薦について(領域8)
・締め切り: 2021年10月15日(金) ・宛先:領域8代表・楠瀬 博明
jpsf8info@gmail.com

米沢富美子記念賞 推薦受付中 (推薦枠4)
募集要項 <https://www.jps.or.jp/activities/awards/yonezawa/yoko.php>
・締め切り: 2021年11月19日(金) ・宛先:領域8代表・楠瀬 博明
jpsf8info@gmail.com

以上 2 件について推薦の依頼がなされた。

8:LT , SCES についての説明 (前野 (京大理)、播磨 (神戸大理))

LT29 の活動進捗報告

2 年延期して 2022/8/18-24 に開催。

開催方式はハイブリッドとなり、特に若手、学生のオンサイトの参加が推奨された。

講演、アブストラクト登録のスケジュール、関連会議やサテライトについて紹介がなされた。

SCES の今後の予定

SCES 2020 は完全オンラインで実施。

SCES 2022 は完全オンサイトで実施することが検討中。申し込み日程について紹介。

類似の名称の会議が多数開催されているため、SCES 19 のウェブサイトから SCES 20/21 などへリンクしている。

SCES 23 について現状公開されている情報についても紹介、予定通り実施される見込み。

9:その他 (学会賞・引き継ぎ)

参加者: 16 名

・IM の時間調整

榊原氏 (鳥取大工) より

領域 11 の計算物理分科会と IM の時間がバッティングしているので、可能なら今後は時間をずらしてほしいとの依頼。後日調整を行う。

・学生賞について

申込多数により一次審査が必要な場合、プログラム決定までに審査の必要があり、12 月頭に評価者自身の発表とバッティングしないようにプログラム編成を行う

学生発表賞申込期間: 2021 10/15 (Fri)-29 (Fri)

担当者: 谷口氏 (東北大理)、補助: 石角氏 (CROSS)

Web 担当 (柳氏 (東北大理)) が関連する掲示を随時行う。

受付先: 専用の Google account があるのでそちらで受付

申し込みの簡便化のために Excel ワークシートを作成したので利用する

- ・若手奨励賞

次期領域代表が2022/3の学会で若手奨励賞講演の座長を行う。

- ・今後の学会実施時の注意事項について

オンサイトの場合、部屋割りと平行セッションの調整が必要。

オンサイトの場合、最終日午後にセッションが入れられないことに注意。

学生賞審査は最終日午後に行うため、担当者が現地に残って審査していることの確認がされた。

審査のオンライン化の提案、今後検討。